

令和6年度 沼津商業高等学校 第3回学校運営協議会（議事録）

1 日 時 令和7年1月24日（金）午後1時10分から3時40分まで

2 場 所 沼津商業高等学校 中会議室他

3 出席者

会 長	石川 元康	日本大学短期大学部准教授【学識経験者】	
副会長	齊藤恵美子	福祉施設勤務【地域住民】	<本日欠席>
委 員	島田 裕介	清水町上徳倉自主防災長【地域住民】	<本日欠席>
委 員	加藤 力也	清水町立南中学校長【学校運営に資する活動者】	
委 員	中口 美香	本校PTA会長【保護者】	
委 員	川瀬 典子	清水町教育委員会社会教育課社会教育推進係 【学校運営に資する活動者】	(以上敬称略)

校長（中村）、副校長（野澤）、事務長（大塚）
※教頭（青木）課題研究成果発表会審査員業務

4 内 容

(1) 課題研究成果発表会参観（体育館）

全校生徒が集まって実施した3年生の課題研究の成果発表会の様子を参観した。

(2) 校長挨拶

- ・本日、参観していただいた課題研究成果発表会は、全般的に、生徒自身が研究を通して何を得たのか、その発信に課題が残った。次年度に向けての課題としたい。
- ・生徒の様子であるが、欠席、遅刻が目立つ。コロナ禍の影響で、休むことに抵抗がない生徒も多いように感じる。自分の強みをどう伸ばしていくのか、将来どのように生きていきたいのか、しっかりと考えさせることが大切になる。
- ・新校舎の建築も本格化していた。同時に、校舎移転に向けて準備を進めていかなければならない。来年度は、募集定員が1クラス減となる。現在の2学科3コース体制の在り方も検討が必要となる。

(3) 協議・意見交換

ア 学校評価アンケート結果報告について（学校から）

教職員、生徒、保護者による学校評価アンケートの結果を説明した。また、それらを基に行った学校自己評価について説明した。

イ 学校関係者評価の実施について

6人の委員から、事前にいただいた評価結果を総合し、今年度の学校関係者評価の結果を確定した。

ウ 意見交換・委員からの提言等について

（各委員の発言要旨）

石川委員

- ・オープンスクールは、中学生に沼商をPRする重要な機会であると思う。回数を増やすことは考えられないか（→新校舎建築による駐車場の問題もあり、検討が必要である）。ICTの活用について、教員側の一層のスキルアップが必要であるとを感じる。
- ・大学においても、多面的な評価が必要とされる時代であり、出席も毎回取っている。出席することを重視しており、高校でも「皆勤」は大切であるとを感じる。

- ・地域連携については、高校生が目上の人と接することで気付くことが沢山あると思う。そういう意味で、非常に重要である。

加藤委員

- ・通信制の高校への進学を希望する中学生が増えている。世の中の変化を痛感する。読書については、大人も読書量が減っている時代であるが、重要なことである。但し、中学校も、放課後の部活動の時間確保のため、朝読書をやめている学校が増えているのが現状である。
- ・中学校の校門に立っていると、自転車に乗っている高校生が、さわやかに挨拶をする、マナーよく運転している、そういった様子が目に入る。引き続き、そういった高校生の姿を期待する。

中口委員

- ・会社に入った後のことを考えると、学校の出席はとても重要であると思う。小中高の教育は、就職した後に、どうなるのかという視点が必要であると思う。特に、高校は社会へ出ていく通過点として、きちんと出席するということが大切にしていかなければならないのではないかと感じる。
- ・社会全体で、適応障害が増えている、その原因は、生活習慣の乱れであると聞く。スマートフォンの使用を含め、小さな頃からの生活習慣が大切だ。
- ・子どもの健康は、親として、とても重要なことである。検診の結果により再検査のために通院した生徒の割合が低いのが非常に気になる。保護者への通知、連絡方法を是非、工夫、検討してほしい。

川瀬委員

- ・コロナ禍の影響か、小中学生の保健室登校が多いと聞く。これから高校へ進学してくる子たちが心配である。そういう意味でも、アの項目（学校や社会のルールを順守する態度・基本的な生活習慣を身に付けること）は特に重要であると思う。

(4) コンプライアンス委員会

ア 今年度のコンプライアンス遵守に係る取組の報告（学校から）

不祥事根絶に向けた今年度の取組の様子及び成果と課題について報告した。コンプライアンス研修について、各自の取組を発表し合い、共有する形態を取り入れたことにより、教員間の連携や意識が深まりつつあることが大きな成果である。また、テスト答案の扱い等、個人情報管理の一層の意識喚起を図っていくことが課題である。

イ 委員からの助言等について

- ・コンプライアンス研修を非常に丁寧に実施しており、よい。継続してほしい。
- ・個人情報の中でも、特に紙ベースの情報は、徹底的に管理するという意識が大切になる。引き続き、高い意識を持って取り組んでほしい。
- ・先日実施した体罰、セクシャル・ハラスメント実態把握調査の結果が、いずれも0件であったということで、安心した。